アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.149/2019 年(令和元年)6 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第149号をお届けします.

【1】 新任執行部メンバのご挨拶

AP研執行部は6月から新体制となりました. 陳委員長, 黒川副委員長, 有馬幹事の3名が新たに執行部に加わりました. 新執行部メンバからのご挨拶を紹介いたします.

陳委員長

東北大学の陳強です. このたび, 令和元年―２年度のアンテナ・伝播研究専門委員会委員長を拝命いたしました. 今回ご退任された広川二郎委員長, 山口良副委員長, 木村雄一幹事をはじめとする平成29~30年度の執行部のご尽力に深く感謝いたします. A・P研は1966年4月に発足し, 半世紀以上の歴史を持つ伝統のある研究会であり, 電子情報通信学会のなかでアクティビティが非常に高い研究会の1つです. しかしながら, 近年電子情報通信学会の会員数が減少し, 論文誌への投稿数も急速に減っており, 学会を取り巻く環境が非常に厳しくなっています. このような逆境のなかで, A・P研の高い活動力, 強い団結力を維持し, 皆さんの研究・教育に役に立つ, 魅力のある学会活動を行っていくことが新執行部の責務です. 毎月開催される第一種研究会やホットな研究テーマを推進する第二種研究会, 海外開催のワークショップなどにより多くの方々に興味をもって参加していただけるよう学会運営していくと共に, 従来から進められてきた「若手の育成」,「異分野の融合」及び「企業との連携」をさらに強化し, 様々な施策を講じていきたいと思います. これまでと同様, 皆様のご協力を賜れれば幸いに存じます. これから2年間, よろしくお願いいたします.

黒川副委員長

産業技術総合研究所の黒川です. このたび, 副委員長を拝命いたしました. 御退任された広川前委員長, 山口前副委員長, 木村前幹事をはじめ専門委員の皆様に感謝するとともに, 陳委員長を補佐しながらアンテナ伝播専門委員会, 同研究会活動を進めていきたいと思っております. AP研では, 長くAMT研究会での活動を行ってまいりました. 陳先生からの御挨拶でも述べられています「異分野融合」,「企業との連携」等はSustainable社会の実現に重要であり, IoT, ５G等の発展と推進にAP研の役割と重要性はますます高くなると考えております. AP研活動, 関連研究会との連携等, 皆様と一緒に2年間活動していきたいと考えておりますので, よろしくお願いいたします.

有馬幹事

この度, 埼玉大学木村先生の後任として幹事を拝命いたしました. 私は2010年度から2年間幹事補佐を勤め, その期間に学術的にも体格的にも大きく成長できたと自負しております. 私の幹事としての2年間に東京オリンピックなど国を挙げてのイベントが計画されており, アンテナ・伝播技術も大きく進むと期待されています. A・P研は歴史と革新の研究会です. 私が幹事の間に, この先の10年を見据えた革新的な事業を皆様と協力しながら進めたいと思います. 末筆ながらこの6月で退任された旧A・P研執行部の皆様に感謝申し上げます. 私も微力ではありますが, A・P研の発展に尽力したいと思います.

【2】 6月研究会報告

6月の研究会は, 午前中に実施した新体制での専門委員会の後に実施されたこと, AP研表彰式, 新体制での初めての懇親会等が開催されることもあり, 非常に多くの方々の参加をいただきました. 研究会では, 後藤尚久顧問(東工大)の一般公演を含めて6件の講演が行われました. IEEE AP-S Tokyo chapter講演会では, 日産自動車の村松寿郎様から「Connected Carの現状と展望」というテーマで講演が行われました. アンテナ伝播研究会はConnected Carのコア技術の一つを担っていると考えられますので, 今後ますます研究開発が進み, 研究会での発表も増えてほ

しいと思います．懇親会では，虫明顧問（東北大）のご挨拶があり，wiki pediaの自己補対アンテナ（Self-complementary antenna）の記述に，IEEE milestoneの記述が追加されたとのアナウンスがありました．非常に貴重なお話をいただき，また，虫明顧問，佐藤先生，宇野顧問，陳先生の4名が並んだ貴重な写真も得ることができ，感激いたしました．アンテナの研究をすると長生きができる気がいたしました．

以下の，wiki pedia，IEEE milestoneのリンクも参考までにご覧いただくと良いと思います．

https://en.wikipedia.org/wiki/Self-complementary_antenna

http://www.sm.rim.or.jp/~ymushiak/image53.gif

【3】 今後の開催案内

AP研のWebページでは，今年度の研究会開催計画が掲載されています．1種研は，7月17～19日東北大学，8月21～23日北海学園大学に開催されます．8月の北海道は，日本で最も過ごしやすい場所ですし，カニなどの海鮮もおいしいシーズンだとのことです．多くの皆様のご参加を期待しております．

2種研海外開催であるIJAWT2019が7月29～30日インドネシアバンドン，MJWRT2019が8月1～2日マレーシアクアラルンプールで開催されます．2研究会に参加されますと，インドネシアからマレーシアまでの陸路での移動も体験できる（？）とのことです．9月10～13日には，ソサイエティ大会が大阪大学で開催されます．AP関連は100件を超える発表があると思いますので，発表される方だけでなく，多くの聴講者が参加されることを期待しております．

【4】 副委員長の戯言

今年度は，前国際委員の榊原先生の多大なご尽力により，多くの2種研海外開催が計画されております，7月4日には，フィリピンとの初めてのjoint開催のmini研究会がマニラで開催され，新井顧問，広川先生等日本から7名が参加しました．現地研究発表と合わせて13件の発表がありました．50名を超える参加者があり，非常に盛況でした．本番のjoint開催は，12月4～6日（予定）であり，日本から50名以上の参加が期待されています．フィリピンには，日本から4時間ですし．味覚の近い料理も多く，また，12月はきっと過ごしやすいと季節です．皆様参加の準備をおねがいします．フィリピンでは現地企業が製造する1万円程度の4G LTEスマートフォン，数千円の3Gスマートフォンが販売されていました．皆様も12月のjoint開催(PJWWRAT)に参加されますと，素晴らしいフィリピン（料理？），現地携帯関連企業のポテンシャルも感じることができると思います．

〈問い合わせ先〉
アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長　黒川 悟（AIST）
E-mail:ap_ac-chair@mail.ieice.org (AP研執行部のメールアドレス)
AP-NET:AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて
AP研HP:http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/